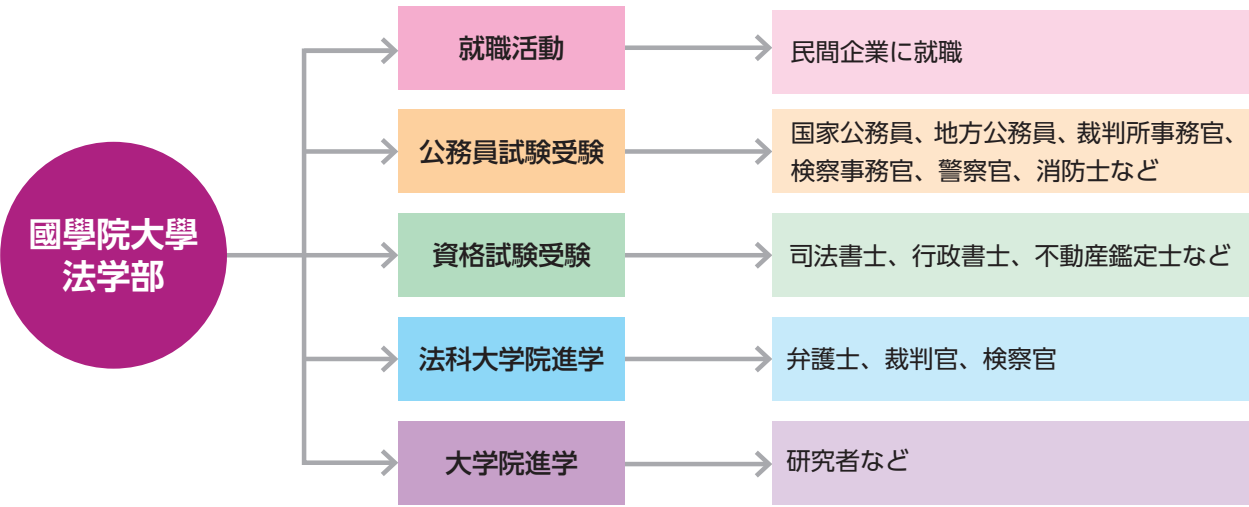


将来：卒業した後を考えよう！

卒業後の進路

法学部生の卒業後の進路には、大きく分けると就職と進学との二つがあります。一口に「就職」といっても、①民間企業への就職、②官公庁・独立行政法人への就職(公務員)、③資格を取って実務に就く、といった色々なパターンがあります。また、進学については、特に法科大学院を志望する学生が多数ですが、研究の大学

院(大学院法学研究科または法学政治学研究科)に進む学生も見られます。いずれにしろ、4年間の学生生活の間にしっかり準備しておかないと夢を掴むのは難しくなります。先輩方のアドバイスを参考にして、卒業後の進路についても考えてみましょう。



民間企業に就職する

将来の進路で最も多いのは民間企業への就職です。民間企業への就職活動(いわゆる就活)の場合、特に人気企業には希望者が殺到しますし、そもそも多様な業種から自分にあった職場を選ぶのも大変です。しかし、そのような状況でも頑張って内定を勝ち取った先輩からアドバイスをもらいましょう。

公務員として働く

安定した職種であるため、官公庁への就職は根強い人気を誇っています。しかし、「公務員」とはどのような職業なのでしょう？そして、どのようなやりがいを感じることができるのでしょうか？また、内定を勝ち取るためにはどのような対策が必要なのでしょう？各方面で活躍する先輩に聞いてみましょう。

資格取得で自己実現を図る

司法書士、行政書士、不動産鑑定士、社会保険労務士などの資格を得る道もあります。

法科大学院進学で法曹三者に

法曹三者(裁判官・検察官・弁護士)は法学部生にとってあこがれの職業です。しかし、そのために、法科大学院に進学して法律をさらに究めた上で、司法試験に合格しなければなりません。この厳しくも有意義な道を進み始めた先輩からアドバイスをもらいましょう。

大学院進学で「もっと勉強する」

大学4年間だけでなく、もっと法律や政治を勉強したい、そんな求道者には大学院(法学研究科)がお勧めです。大学院の勉強は学部勉強とどう違うのでしょうか？また、どのような能力が求められるのでしょうか？本学の法学研究科で学ぶ大学院生に聞いてみましょう。

民間企業に就職する

キャリアサポートー就職活動支援

就職活動を行う際には、しっかり準備した上で臨むことがきわめて重要です。就職活動が短期化していることから、大学に入学したらすぐに就職を意識しておく必要があります。國學院大學では、みなさんの希望する進路を実現するために、様々な就職活動支援を企

画しています。下記の表にあるように、進路ガイダンスや業界研究会、卒業生や内定者との懇談会、大学内での会社説明会の開催など、就職活動を力強くサポートしていますので、入学後は是非気軽に参加してみてください。

主なセミナー・ガイダンスの例

講座名	内容
就活スタートガイダンス	就職活動の流れと対策の講座
インターンシップガイダンス	インターンシップの参加方法。対策の講座
マナーガイダンス	社会人に求められるビジネスマナーの講座
リクルースタイルガイダンス	リクルースーツ、髪型、化粧などの身だしなみについての講座
SPI模擬試験	就職活動における筆記試験対策講座
模擬面接トレーニング	企業の採用担当者による模擬面接指導。

法学部卒業生の主な就職先 (一般企業過去5年間)	
建設業・設備業・機械製造業………	鹿島建設 大成建設 東急建設 関電工 積水ハウス 大和ハウス工業 富士通
化学工業・その他………	パナソニック セガ タカスタンダード TOTO 岡村製作所 ジャパンビバレッジホールディングス ニチレイフーズ 日本食研ホールディングス 大塚製薬 塩野義製薬 久光製薬
印刷・マスコミ………	産業経済新聞社 静岡新聞社 静岡朝日テレビ
小売………	そごう・西武 東急ストア セブン-イレブン・ジャパン ローソン 三省堂書店
不動産業………	三井不動産リアルティ 三菱UFJ不動産販売 みずほ信託不動産販売 東急リバブル
銀行・証券等………	みずほ銀行 三井住友銀行 三菱東京UFJ銀行 りそなホールディングス 野村證券 大和証券 みずほ証券 SMBC日興証券 ゆうちょ銀行
生保・損保・その他………	日本生命保険 第一生命保険 住友生命保険 明治安田生命保険 かんぽ生命保険 三井住友海上火災保険
運輸・通信・旅行・観光業………	JTB首都圏 日本通運 日本郵便 東日本旅客鉄道 東京地下鉄 エイチ・アイ・エス 日本航空 全日本空輸 NTTドコモ KDDI
サービス………	セコム リクルートキャリア 総合警備保障 マイナビ

Message

キャリアサポート課 職員紹介 広瀬 健一 さん

國學院大學では、早期から自分自身の進路と向き合い主体的な学生生活を送るため、正課授業やインターンシップ関連企画などを通じて、1年生の時からキャリア支援を行っています。希望進路決定時期である3年生からは本格的な就職活動に向け、実践的なガイダンス・講座を開催し、企業、公務員、教職に分け、履歴書の書き方から自己分析、業界研究、面接指導会などきめ細やかな指導をしています。また、単に内定を得るためだけの支援ではなく、自身の人生を充実させるための学生生活・就職活動となるようなサポートをしています。

【対談】

社会人として羽ばたこう

— 「就活」 のススメ

大学生になると「就職活動」という最大の難関が待っています。しかし、しっかりと準備をすれば、この難関を乗り切るのはそう大変ではありません。航空業界への就職を果たした先輩にアドバイスを聞いてみましょう。

Q こんにちは。全日本空輸会社(ANA)への就職、おめでとうございます。

山崎さん(以下、**Y**) 有難うございます。ANAは私にとって第一志望の会社でしたので、ANAに就職できたことを大変嬉しく思っております。

Q なぜ航空業界を志望されたのですか。

Y 私は小さい頃に、家族旅行で飛行機に乗る機会が幾度ありました。その時、いつも機内で客室乗務員の方が、大変親切に下さったことを今でも鮮明に覚えています。そのため幼少期から航空業界に憧れていましたが、あくまでも漠然としたものでした。国学院大学進学後、ゼミ、サークル及びアルバイトを経験していくにつれ、相手の立場に立って考え、喜んでもらうことが好きであるというサービス精神は、客室乗務員で生かせるのではないかと気づき、挑戦したいと考え志望しました。

Q 内定を取るまでには色々と苦労したこともあったのではないのでしょうか。

Y 就活当初、私は学内面接で「印象がない」と言われ、自分には他人に誇れるものが無いのではないかととても悩みました。しかし、就活が進むにつれて自分と真摯に向き合うことで、自分らしさを再発見することができました。また、各種業界の説明会や選考を通じて、普段お会いすることができない方々から色々なアドバイスをいただけたことも自信に繋がりました。更に、家族や友人からの支えも力となり、私にとって大変有意義な経験となりました。



Profile

山崎 莉奈 さん

國學院大學法学部2016年卒業
(法律専攻)

就職先：全日本空輸株式会社(ANA)



Q 就活をしていくうえでどのようなことを心がけていましたか。

Y まず、最初に心がけたことは、自分の目で見て感じたことを大切にすることです。就活中は様々な情報がインターネットや口コミで入ってきます。確かにこうした情報を入手することも重要なのですが、反面、振り回されてしまう場合もあります。次に心がけたことは、自己分析と企業分析です。自己分析については、私は特に「自分の軸」、つまり自分にとって譲れない価値観を定めることにしました。例えば、社風が自分に合っているか、やりがいを感じることができるか、仕事を通じて自己成長できるか、ということです。企業分析については、志望した企業の「企業理念」を必ず最初に確認することで、その会社が何を目指しているのかということを調査して企業分析をおこないました。

Q 就活をするにあたって法学部の授業は何か役に立ちましたか。

Y 法学部は法律、つまり社会のルールを学ぶところです。憲法、民法、刑法、会社法そのすべてが私達の生活に根づいています。私は航空業界だけではなく、他の業界もみていたのですが、どの企業に対しても通ずるものがあります。私のように大学に入る時は、社会に出て何がしたいのかははっきり決まっていなくても、在学中にきっとやりたいことが見つかるのではないかと思います。

私は刑法のゼミに所属していたのですが、自分が何を正しいと思うのかを考え、そしてそれを他人に伝える力が養われたと思っています。前述でも触れましたが、このことは「自分の軸」を定めるという点でも大変役立ちました。

Q 最後に今後の抱負と高校生へのメッセージをお願いします。

Y これからは、一社会人として責任と誇りを持ち、日々自己研鑽を積んでいきたいと思います。

高校生の皆さんに私から唯一メッセージを送るとしたら、「挑戦」する気持ちを大切にしてほしいということです。私と共に、これからの未来へと羽ばたいていきましょう。

【対談】

— 「なぜ？」を 何回も繰り返す—

続いて、電機メーカーに就職した先輩の話も聞いてみましょう。

Q 日本電気(NEC)への就職、おめでとうございます。

K ありがとうございます。

Q ところで、なぜNECを志望したのですか？

K もともと、防衛産業に憧れていたんです。「カッコいい！」って。あっ、ほとんど知られていませんが、NECは通信を中心として防衛産業の一翼を担っているんですよ！

政治専攻を選んだのも、平和と国防について考えてみたかったからなんです。漫画とか読んでても、争っているじゃないですか、ガンダムとか。「なんで戦争は無くならないんだろう？」と思って。

Q 就職活動はどうでしたか？苦労しました？

K 最初は防衛でも違う分野を考えていたんですけど、そちらは合わなくて、でNECが5月採用(註：2015年の卒業生は、これから入学する方の採用日程とは違う日程で就活をしていました)をしていたので応募して、そしたらトントン拍子で決まって…

Q NECに入るのに全然苦労しなかったんですか？

K そういうことかというと、入りたいという気持ちと、働く動機をうまく結びつけて説明するということに最初は苦労しました。NECは通信システムを防衛省に納入しているんですが、そしてそれには陸と空と海があるんですが、そしてこれからの戦場として宇宙とサイバーがあるんですが、今後はそれを相互に結びつけて、総合して行くことがこれからの安全保障には必要なんじゃないかと思いました。特にNECは宇宙もやってますし、サイバーにも強いですし、陸・空・海もやってきたので、そこを強調しました。

ただ、最初は、入社して仕事をしているわけでもない学生の意見なので、自信が持てませんよね。

でも、面接を重ねて語っているうちに「このことができるのは御社だけです！私のやりたいことはこれなんです！」と熱弁を振るうようになっていました。そこは就活の面白いところです。

Q きっと語りながら相手の反応もあって、自分の思いを再確認したということなんでしょうか。ところで、他の業種は全然考えなかったんですか？



Profile

小瀧 真奈美 さん

國學院大學法学部2015年卒業
(政治専攻)

就職先：日本電気(NEC)



K じつは出版も考えなかったわけではないんです。本は好きなので。ただ、防衛産業はそこで働いている自分を想像できたのですが、出版はそこで働いている自分、働いて何がしたいのかをイメージできなかったんです。おそらく、そういう自分の姿を考えられるのが本当に自分のやりたいことなのではないかと思いました。

Q 他に就職活動をする際に心がけるべき点ってありますか？

K これはゼミの先輩から教えていただいたことなのですが、「『なぜ？』を何回も繰り返す」というのがあります。これは志望動機を練る上でも、自分自身を見つめ直す意味でもすごく効果的だったと思います。

Q 具体的にいうと？

K たとえば、「防衛関係の仕事がしたい」→「なぜしたい？」→「カッコいいから」→「なぜカッコいい？」→「国の安全は国家の繁栄において基本要素で必須のもの。それを守り抜くことはとても重要な任務だからこそ、働いている人はみな真摯に働き、だからこそその姿が格好よく、魅力的に見えるから」→……という形で、自分に「なぜ？」を連発して、自分の考えを深めていきました。

一般論としても、ついつい「すごい」「カッコいい」「おもしろい」などという便利な言葉に逃げがちですが、どうしてそう思うのか、何が「すごい」のか、きちんと言葉なり文章なりにすることは日頃からやっておくべきことだと思います。これは考えるだけではだめで、書き留める必要がありますけど。

これは就職活動だけではなく、単にコメントペーパーを書いたり、論文を作成したりするときでも使えるテクニック？だということとも言えると思います。

Q これは就活以外にも必要な心構えですね。後輩にとっていろいろな部門で参考になると思います。ありがとうございます。最後に、入社後どんな姿勢で仕事をしていきたいか、聞かせてください。

K 今の時点ではどの部門に配属されるかわかりませんが、どこに配属されても頑張るって仕事をして、「なぜ小瀧を希望の部署にやらなかったのか？」と言われるようにになりたいですね。もちろん、希望の部署に行きたいですが。

Q 今日はありがとうございました。4月から頑張ってください。

K ありがとうございます。頑張ります。

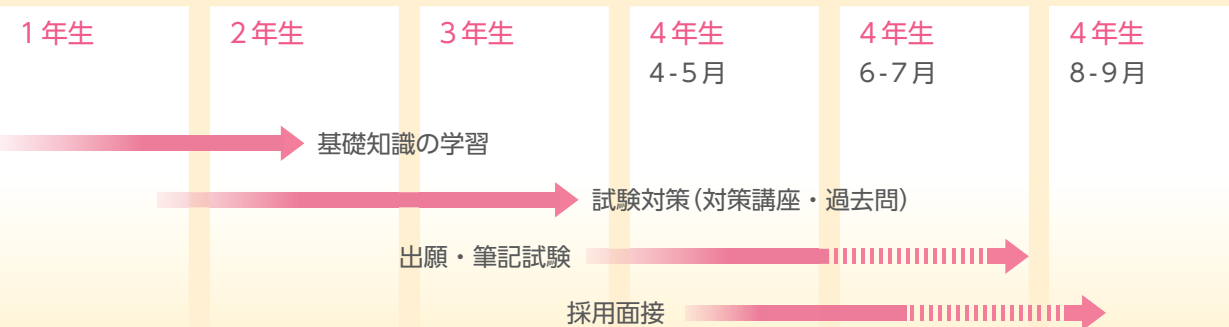
公務員をめざす

法学部生の間では「公務員」は根強い人気を誇っています。ただ、一口に「公務員」と言っても様々な職種があります。例えば、国の機関で働く場合は「国家公務員」、地方自治体で働く場合は「地方公務員」と区別されますし、また、仕事の内容に応じて、総合職・一般職(事務職)、地方上級・中級といった違いがあります。その他、警察官や国税専門官、裁判所事務官と

いった特別の職種もあります。

それぞれの職種ごとに異なる採用試験が実施されていますので、自分の希望に即した対策を採る必要があります。いずれの職種でも、公務員に採用されるためには、難関な試験を突破した上で採用面接を受けなければいけません。夢をかなえるためには、試験対策を早めに始めることが必要です。

公務員試験スケジュール



■公務員試験対策・資格試験対策fb

國學院大學では、公務員試験や資格試験を目指す学生のために、特別に対策講座を実施しています(下の表を参照)。試験で高得点をとるためには、基礎知識を十分理解した上で、細かい知識を暗記したり、過去問の傾向を分析したり、模擬試験を受験したりする必

要があります。法学部の授業だけでは、これらのテクニックを十分に身につけることは大変ですので、國學院大學では、合格実績の高い予備校と提携して、通常の価格よりも割安な価格で対策講座を受講できるようにしています。

公務員基礎講座

1～2年生を対象とした基礎力養成講座です。公務員試験の重要科目である憲法・民法・数的処理・経済学を基礎から学びます。この講座で基礎力を身に付けて、3年次から本格的な学習に移っていきましょう。

公務員試験 國學院本科生

国家公務員事務職、地方上級、市役所職員などの公務員を目指す人向けの講座です。憲法・民法・行政法といった法律科目のほか、経済学・政治学や一般知識に加えて、模擬試験時事対策・面接対策なども含まれます。

公務員試験 國學院本科生 (警察官・消防官)

警察官・消防官試験に備えた対策を実施します。各種演習や公開模試、面接対策・時事対策なども含まれます。

行政書士 速習本科生

行政書士試験に短期集中で合格したい人のための対策講座です。法律系科目だけでなく、一般知識問題についても対策を行います。

[対談]

中央省庁(霞が関)を目指そう！

公務員、特に国の中央省庁(いわゆる「霞が関」)の総合職は法学部生にとって憧れの職業でもあります。しかし、そのためには難関な試験を突破しなければなりません。その難関を突破した先輩OGの貴重な体験談を聞いてみましょう。

Q こんにちは。国土交通省への就職、おめでとうございます。今どのようなお気持ちですか？

五十嵐君(以下、I) ありがとうございます。国土交通省に合格するとは正直なところ思っていませんでしたので、とてもうれしいです。他方で、私が配属される関東運輸局は国民の生活にも影響する仕事をしている部局なので、今から心を引き締めています。

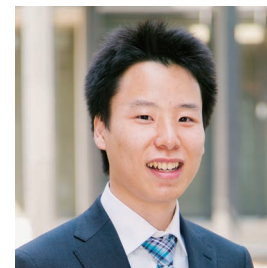
Q 国交省はニュース等で比較的良好に見聞きする省庁ですね。五十嵐君が配属される国交省の関東運輸局は具体的にどのような仕事をしているのでしょうか？

I 国土交通省は、国土の利用・開発・保全、社会資本の整備、交通、観光、気象、海上保安の各業務を担っています。とりわけ関東運輸局では、関東地方における交通、観光政策を行っています。

Q 最近だと、大型観光バスが道路脇に転落して多数の死傷者が出た事故に関して運航会社が許可を取り消されたというニュースがありましたが、許可を取り消したのが関東運輸局でしたね。なぜ志望したのですか？

I 新聞で少子高齢化の話題を目にしたときに、このまま人口が減少し続けると経済力が衰退して次世代の負担が大きくなることを知りました。そして、今の日本の経済力を維持、発展させるためにはどうすれば良いかを自分なりに考えました。その結果、比較的短時間で効果が望める観光政策が有効ではないかと考え、その分野に携わりたいと考えたからです。

また、国の機関で働きたいと考えたのは、自治体の垣根を越えて観光政策に取り組むことにより、関東の定番化しつつある観光地に対して新たな提案を行い、地元の方しか知らないよう



Profile

五十嵐 拓哉 さん

國學院大學法学部2016年卒業
(法律専門職専攻)
就職先：国土交通省



な今まで隠れていた名所等を積極的に勧めることで、関東一円に観光客を呼び込みたいと考えたからです。

Q なるほど。国全体の公益にかかわるような仕事をしたいと考えていたということですね。でも、国家公務員になるのは大変ですよね。どのような勉強をしましたか？

I 筆記試験には教養科目と専門科目があり、限られた時間の中で多くの科目を勉強しなければなりません。対策としては頻繁に出題される科目から勉強していきました。重要だと思うのは数的処理と法律系科目です。特に法律系科目は、短期間の勉強では身につけにくいですが、私は法律専門職専攻で国家一般職よりも深いレベルの内容を学んでいたもので、過去問を解く以外に新たに対策をせずに済みました。このときは本当に大学で法律の勉強をしておいて良かったと思いました。具体的な勉強の方法としては、過去問を解きました。本試験では過去問の類似問題が数多く出題されるので、過去問が概ね解ければ筆記試験は通過できると実感しました。

筆記試験と比べると軽視しがちですが、面接試験の対策も重要です。私は、自己分析や文章力を向上させるためにキャリアデザインという授業を履修したり、大学などで模擬面接を何度も受けたりしました。ここでは苦しいときもありましたが、めげずにやり切ったことが合格に繋がったと思います。また、業務説明会に参加するなど、足で情報を稼ぐことも大切だと思います。

Q 五十嵐君は大学でも成績優秀者に何回か選ばれていて、とても熱心に勉強していましたね。今回の合格はその賜物だと思います。それでは、今後の抱負を聞かせてください。

I 交通、観光政策は国民生活になくてはならないものだと思います。そのため、これらの政策を行う中で様々な困難に当たることもあると思います。しかし、運輸局の職員として安心、安全、快適に利用できる交通、観光振興を実現するという使命を忘れずに職務にあたり、国民の皆様から信頼される運輸・観光行政を目指して全力で頑張ります。

Q これからも活躍されることを期待しています。がんばってください。

【対談】

人の役に立っていることを実感したい！

地方公務員。法学部の学生の中でも「なりたい」と思う人の多い職業です。どんな心構えで臨むと結果が出るのか、合格者が語ってくれました。

Q つくば市役所への就職決定、おめでとうございます。

T ありがとうございます。

Q ところで、なぜ地方公務員を目指そうと思ったのですか？

T 私の場合は、べつに安定した職業だからということで公務員になろうと思ったわけではないんです。どちらかというと、自分に甘い人間なので、自分のためだけに働く仕事を選んだら続かないと思いました。もちろん、民間企業の仕事が自分のためだけの仕事というわけではないのですが、たとえば市役所の窓口で住民の方と接して、直接人の役に立っていると実感できる仕事をしたいと思いました。

Q そうか、わかります。

T それだけでなく、高校時代の自由研究で「まちづくり」について調べたことも影響しましたね。そういうことでいうと、国家公務員でもなく、県庁職員でもなく、市役所が一番なんですよ。しかも私の地元のつくば市は、いろいろできる可能性が高いと思いました。

Q 公務員の試験は、難関だと言われていますけど、いつ頃から準備しました？

T 直接の試験準備としては、試験の2カ月ほど前の4年の夏からですね。試験問題の形式に慣れるという意味では。

Q でも多くの人は、早い段階からダブルスクール(大学での勉強とは別に公務員試験受験のための学校に通うこと)やるのが当然と思っていますよね。

T 確かにそれが普通という雰囲気はありますね。でも、必ずしもそれが必要とは思いません。普通に大学の講義で勉強していれば特別のことは必要ないと思いますけど。

Q ということ？

T 公務員試験については1年生の時から意識をしていたので、その点を考えた履修登録をしました。つまり、公務員試験に必要な科目を意識してとっていました。そして公務員試験では、べつにダブルスクールしなくても、だいたい基本をうまく押さえればなんとかなると思いますよ。研究者になるのならともかく、公務員試験では、だいたい問題の「型」を押さえれば、



Profile

高田 啓人 さん

國學院大學法学部2015年卒業
(法律専攻)

就職先：つくば市役所



そんなに難しくはありません。

Q 一般の人はそう思っていませんか？「大学の講義だけでは足りない」みたいな。

T そうっていない人って、たいてい法律の科目の勉強を「暗記」だと思っているんですよ。で、「暗記」で対応するとすると、膨大な項目を暗記しなければならないんです。ところが、たとえば民法だと、民法の基本的考え方を押さえておけば、公務員試験の択一の問題などは、「明らかに違う」という選択肢が二つくらい入っていて、それを排除すれば、正解の選択肢の範囲はかなり狭まるわけです。ですから、膨大な量の暗記も、ダブルスクールも必要ないと思います。

ただ、やはり公務員試験特有の問題形式に慣れておくことは大切なので、三年生の終わりまでに必要な単位のあらかたは取ってしまって、四年生はゼミといくつかの講義だけ出ればいいようにして、公務員試験に集中できるようにして、2 か月は集中的に勉強しました。

Q ゼミを履修した経験は公務員試験でも役に立ちました？

T ゼミはべつに公務員試験を意識して取ったわけではないんです。中川先生のゼミ(刑事訴訟法)なんですけど、一年生の時から中川先生の講義をとっていて、本当におもしろいと思ったのでこのゼミにしました。試験対策だったら科目的には違うゼミにしていたと思います。

でも、鍛えられました。それが公務員試験に結果的に役立つことになったと思います。ゼミでは、自分で調べて発表して、自分の意見を展開することになるわけですけど、うちのゼミは、それに対する「ツッコミ」がハンパじゃないんですよ(笑)。それに対応することで、「どう説明すれば他のゼミ生が納得してくれるか」「こういう問題ではまず結論を先に提示したほうがいいのか」という思考が採用試験での面接やグループ討論に役立ちましたね。

Q 最後に、つくば市の職員として、ゆくゆくはどんなことに取り組みたいですか？

T やはり都市計画ですね。広い市ですし、市街地もあれば田園地域もあります。地域間のバランスをとりながらも、変えていかなければいけない部分は出てくると思うんです。

それを「住民目線」で考えていきたいですね。そして、たとえ進学などでこの街をいったん出たとしても、「帰って来たい街」につくば市をしていきたいですね。

Q 今日はどうもありがとうございました。4月から頑張ってください。

【対談】

警察官を目指して —高校生の皆さんへアドバイス—

日本の治安を守るために日々活躍している警察官は、法学部生にとって人気の職業です。警察官としての第一歩を歩き始めた先輩に体験談とアドバイスを聞いてみましょう。

Q こんにちは。長野県警への就職、おめでとうございます。

原君(以下、**H**) ありがとうございます。警察官になることは私の小さいころの夢だったので、その夢を実現できてとてもうれしく思います。

Q 小さなころからの夢を実現できたというのはすばらしいですね。どのようなきっかけで警察官になりたいと思ったのですか？

H 私の小さいころ、学校の近くに交番がありました。そこにいるお巡りさんに、私は良く挨拶をしていたのですが、その方は、それに対してきちんと返事をしてくれるなど、とても親しく接してくれました。私は小さいながらも、このようなしっかりしたお巡りさんがいることで自分たちが安心して生活できているのだと思うようになりました。

また、中学生のとき、私は先輩として後輩たちをまとめなければならなかったことがありました。その際、自分がルールを作り、後輩たちにそれを守らせることになったのですが、そのためには自分自身もルールを守らなければならないと考えていました。私は、性格的に秩序正しいことが好きなのだと思います。このようなこともあって、警察官を希望しました。

Q なるほど。でも警察官の仕事はとても大変ですよね。就職先を決めるにあたって考えがふらついたりはしませんでしたか？

H むしろ逆です。國學院大學に入学して上京しましたが、キャンパスがある渋谷をはじめとして、警察官の方がパトロールをしているのをよく見かけました。それを見て、このような人たちがいるからこそ、私たちが安心して生活することができているのだと再認識し、ますます警察官になりたいと思うようになり、就職活動でも警察官採用試験だけを受験しました。

Q そうですか。警察官になろうという気持ちはずっと変わらなかったわけですね。では、その目的を達成するために大学の勉強ではどのようなことに重点を置きましたか？

H 刑事法の勉強に力を入れました。2年次に開講された甘利先生の判例演習に参加するとともに、刑法総論・各論を受講して、刑事



Profile

原 裕太 さん

國學院大學法学部2016年卒業
(法律専攻)

就職先：長野県警



法の知識や考え方を身に付けようと努力しました。

また、3・4年次には植村先生の憲法の演習に所属していました。この演習に参加したのは、討論形式で授業が行われているのですが、先輩たちの素晴らしいディベートを見て、自分のこのような能力を身につけたいと考えたからです。

Q なるほど。主に公法分野に力を入れたのですね。警察官になろうとするうえでこれらの分野を勉強することは重要だと思います。次に警察官試験に向けた具体的な受験対策について教えてください。

H やはり大学でも勉強とは別に試験対策をする必要があったので、3年生の6月から予備校(ITAC)に通いました。

受験勉強にはつらいこともありましたね。他人が理解していることを自分が理解できないときなどは、自分が本当に頑張れているのかが分からず、ネガティブな気持ちになってしまいました。特に私は、警察官試験のみを受験しようと思っていたので、不安になることが結構ありました。

Q 受験勉強はいつでもつらいですよ。よく頑張りましたね。

H 受験勉強にはつらいことだけでなく、自分にとってプラスになる面もあったと思います。警察官になるためには、自分がいままでやってこなかったこともやらなければなりませんが、それができるように努力することで、自分の新しい面を見つけることができたと思います。

Q そのように前向きに取り組んだからこそ、良い結果を得られたのだと思います。それでは、これからの抱負と高校生に向けてのメッセージをお願いします。

H 4月から警察学校が始まり、私は寮で生活をする予定になっています。このようなことは初めてなので不安もあるのですが、これも一つの挑戦だと思っています。将来は誰にでも頼ってもらえるような警察官になりたいですね。

大学は基本4年間で高校よりも長いのですが、ホントにあっという間に過ぎてしまいます。時間を無駄にすることなく、有効に活用したほうがいいですよ。また、大学にはいろいろなところから人があつまってくるし、年齢が異なる人とも付き合うことができて楽しいです。頑張っている人も多いのでそのような人と切磋琢磨できます。そのような環境をぜひ活かしてほしいと思います。

Q ありがとうございました。地域の皆さんに安心感を与えることができるような警察官になってください。

法科大学院(ロースクール)・法学研究科に進学する

■法曹三者とは？

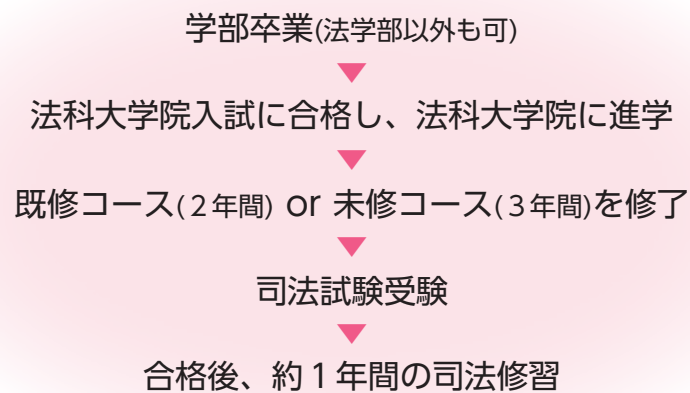
法学部への進学を希望するみなさんの中には、将来、大学で身につけた法律の知識を活かせる仕事につきたいと思う人も多いのではないのでしょうか。このような「法律専門職」として代表的なのは、いわゆる「法曹三者」と呼ばれる裁判官、検察官、弁護士の3つの職業です。それぞれ役割が異なりますが、いずれも法にもとづく正義を実現するための職業です。

法曹三者になるためには司法試験に合格することが必要ですが、この司法試験の受験資格を得るためには、

原則として法科大学院に進学して一定の成績を収めなければなりません。つまり、大学で学部を卒業した後(学部は法学部に限りません)、さらに法科大学院で学ぶことによって新司法試験の受験資格が得られるのです。

法曹三者になるまでの道のりは長くて険しいのですが、法律の知識を活かして正義のために貢献できるのは法曹三者の魅力でもあります。みなさんも法学部で切磋琢磨して法曹三者をめざしてみませんか？ [f](#)

■合格までのみちのり



●卒業生の進学実績 (過去4年間)

一橋大学法科大学院	千葉大学法科大学院	横浜国立大学法科大学院
首都大学東京法科大学院	中央大学法科大学院	上智大学法科大学院
早稲田大学法科大学院	立教大学法科大学院	専修大学法科大学院
法政大学法科大学院	学習院大学法科大学院	西南学院大学法科大学院

■法学研究科での学び

國學院大學は、法学・政治学をより深く勉強する組織として、「大学院法学研究科」を設置しています。(※この法学研究科は、法曹三者養成のための「法科大学院」とは異なりますので注意してください)。通常、大学院は学部4年間の履修を終え卒業することが進学

の条件ですが、本学の法学研究科は、一定の条件を満たすと学部3年終了後に進学することができます。特に國學院大學出身者の場合、学部時代の成績が優秀であることを証明すれば、さらに進学しやすくなっています。

【対談】

法科大学院進学を目指す皆さんへ

法科大学院から法曹三者への道は長く険しいものです。しかし、夢をかなえるためには、この試練を乗り越えないといけません。先輩OBのアドバイスを参考に、みなさんもこの道を目指してみませんか？

Q 木下さんは弁護士を目指して法科大学院に進学したそうですね。弁護士はニュースやテレビドラマ、映画等でよく登場するので誰でも知っていそうですが、実際にはどのような仕事をしているのでしょうか？

K 弁護士というと裁判所で被告人の弁護をしているイメージが強いかもしれませんが、それ以外にもいろいろな仕事をしています。まず、被疑者や被告人の弁護というのは刑事事件の場合ですが、一般の市民の法的トラブルを扱う民事事件に当事者から依頼を受けて関与することがあり、実際には刑事よりもむしろこちらのほうが多いみたいです。それから、裁判だけでなく企業の法務にかかわることもありますし、地方公共団体で活動することもあります。さらに、法制審議会のメンバーとなって立法過程に関わる弁護士もいます。

Q 弁護士の活動範囲はかなり広いわけですね。では、木下さんはなぜ弁護士を目指しているのでしょうか？

K そもそも法律に興味を持ったのは高校生のときに体験した模擬授業でした。そこで、ある法律の文言の解釈にはいくつかの可能性があり、それらのうちどれが妥当なのかを考えるのが法律学であるということを教えてもらい、面白いと思ったのです。弁護士を目指そうと思ったのは國學院大學に入学してからです。児童虐待の問題に対して関心を持つようになったのですが、幼少期の児童虐待は少年犯罪にも繋がる可能性があることを知りました。そこで、これらの問題の解決に法律専門家である弁護士として関わっていきたいと思ったのがきっかけでした。

Q なるほど。では、かなり早い段階で法科大学院への進学を考えていたのでしょうか。

K そうですね。大学1年生のときにはすでに法科大学院への進学を考えていました。私は最初、法律専攻に所属していましたが、法科大学院への進学を考えて1年生の終わりに法律専門職専攻に転専攻しました。



Profile

木下 玲菜 さん

國學院大學法学部2015年卒業
(法律専門職専攻)
進学先：一橋大学法科大学院



Q 法律専門職専攻へ転専攻をした点が木下さんの特徴ですね。なぜ転専攻したのでしょうか？

K 法律専攻では、学生は、一定の条件さえクリアすればかなり自由に科目を選択できますが、授業によっては履修する学生数がとても多いことがあります。私は、1年間法律を勉強してみて少人数のクラスで勉強するほうが自分に向いているのではないかと考えていました。ハードだとは聞いていましたが、もっと法律を勉強したかったので転専攻を志願しました。また、先生方との距離が近いのも専門職専攻の魅力でしたね。分らないところがあれば気軽に質問をしに行くことができ、勉強がとてもしやすかったです。

Q 専門職専攻は法科大学院と目指す人にとってはお勧めということですね。でも、試験対策はそれなりに必要なのではないかと思います。木下さんは、法科大学院に向けてどのように勉強しましたか。

K 基本的には授業を大事にしました。授業に向けて予習・復習をしっかりと行い、授業中は集中して内容を理解することに努めました。また、疑問を残さないように心がけていました。さっきも言いましたが、専門職専攻は先生との距離が近いので、疑問点がでてきたときには積極的に先生のところに行くようにしました。もちろん入試の前には過去問を一生懸命解いたりもしましたが、中心としたのは授業をしっかりと理解することです。

Q 授業内容をしっかり理解すれば法科大学院の入試にも十分対応できるということですね。それでは最後に後輩たちに向けてメッセージをお願いします。

K 國學院大學で学んだ基本的な知識は法科大学院でも十分通用しています。なので、授業をしっかりと理解することに努めてください。一橋大学の法科大学院は、意識の高い学生が多く、一緒に勉強していてすごく刺激になります。このような人たちと議論したり質問をしながら法律を学べることは将来法曹となった時にきっと役立つと思います。その意味でも、法科大学院はやりがいのあるところだと思います。ぜひ多くの皆さんに法科大学院、さらには法曹を目指していただきたいと思います。

Q 今日はどうもありがとうございました。法科大学院での勉強は大変だと思いますが、将来弁護士になって活躍されることを期待しています。がんばってください。

【対談】

法学・政治学の道を究める —大学院への誘い—

学部を卒業すると大学院への道が開かれます。國學院大學でも、法学・政治学をより深く勉強する組織として、「大学院法学研究科」があります。（この法学研究科は、法曹三者養成のための「法科大学院」とは異なりますのでご注意ください。）でも、大学院とはどんなところなのでしょう？よく分からないという人も多いかもしれません。そこで先輩院生に話を聞きましょう。

Q 「大学院」とはどのようなところですか？まずは制度の概要を教えてください。

Y はい、大学院は2年間の前期課程（修士課程）と3年間の後期課程（博士課程）の二つに分かれます。修士課程の場合、30単位の取得と学位論文を書くことが要求されており、学位論文を書き上げると、修了の証として学位（修士号）が授与されます。私たち修士課程の院生は、授業やゼミの合間に自身の研究テーマを勉強して、2年間で論文の完成をめざしています

Q ただ授業を受けるだけでなく、論文を書くのですか？

Y そうです。大学院では、自分でテーマを決めて文献を調べて論文を書くことがメインとなります。日々の授業でも、扱う題材やテーマは院生が自ら提案することが多いです。授業は少人数ですし、時には1対1で行われることもあります。先生方は院生の希望に合わせて親身に教えてくれますので、専門的なことを深く学べる環境が整っています。

Q なるほど、学部とはずいぶん勉強の方法が違うんですね。

Y 自分の興味、関心をとことん突き詰めていくことができますが、逆に言えば、大学院では、主体性が強く求められていると言えます。また、一つのテーマを深く掘り下げる必要があります。

Q 具体的にはどのようなテーマに取り組んでいるのですか？

Y はい、私は「ヘイトスピーチ」に関心を持っています。ヘイトスピーチとは、特定の団体や集団を排斥したり非難したりするような誹謗・中傷を意味します。このようなヘイトスピーチを法的に禁止したり規制したりすることができるのか、諸外国ではどのような対策が採られているか、といった点を研究しています。



Profile

矢崎 智也 さん

成城大学法学部2013年卒業
國學院大學大学院法学研究科
修士課程2015年修了



Q 難しそうですが、大事なテーマですね。

Y 私は、学部時代にダンス部に所属していて、大勢に自分の意見を表現することの重要性を理解しています。しかし、脱原発デモや外国人に対するヘイトスピーチのニュースを見て、人種差別的な表現や憎悪に満ちた表現でも本当に許されるのか、ということを考えるようになりました。表現の自由などの基本的人権に配慮しつつも、表現に対する制約もある程度は必要になるのではないのでしょうか？

Q 「基本的人権」は大学の憲法の授業で学ぶ重要論点です。矢崎君がいうように、基本的人権にも限界があると思いますよ。では、なぜ大学院への進学を選んだのでしょうか？

Y 元々私は好奇心旺盛で、興味を持ったらず行動に移す性格です。そうして色々調べているうちに自分の頭の中の考えを論文という形にしてみたいと思って、大学院への進学を選びました。

Q でも実際に勉強してどうでしたか？やはり授業やゼミは難しいですか？

Y 確かに、授業の内容はより専門的になり、レポート提出が求められることも多いので、授業の準備や復習にはかなりの時間がかかります。しかし、先生方が質問や疑問点に答えてくれますし、レポートの書き方など一から教えてくれます。また、資料室や院生研究室を利用して勉強に集中することも魅力です。

Q 良く分かりました。では最後に、高校生みなさんにメッセージをお願いします。

Y 大学院では、より専門的な学問に取り組めます。今まで聞きしてきた情報をもとに自分で考え、結論を導き出していきます。知識を覚えるだけの勉強から、自分の考えを理論的に根拠づけて、知識を作り出していく勉強が始まります。好奇心旺盛で問題に深く取り組みたい、何事も自分で考える癖をつけたいと思っている学生さんには、是非大学院への進学をお勧めします。

Q どうもありがとうございました。これからも問題に深く取り組む姿勢を忘れずに頑張ってください！

入試制度について

入学試験……多様な入試制度

法学部では、様々な能力を有する学生を幅広く集めるために、多様な入試の制度を設けています。

必要なスキル…法学部が求める学生

法律や政治を学ぶ上で必要とされるスキル（能力）は、大まかに言って以下の4つがあります。

1

知識を体系的に蓄積し、
利用できる能力

3

様々な出来事から
問題を発見する能力

2

情報を収集して、
整理・分析する能力

4

物事を論理的に考えて
結論を導く能力

これらのすべてが揃うと、「問題を発見し、その問題について情報を収集・整理・分析した上で、論理的な思考を通じて解決策を導き出す」ことが可能になります。このような思考方法は、法律や政治を学び、実際に応用する上で

不可欠なものです。とは言え、いきなり4つすべてを身につけることは不可能なので、法学部では、これらの能力のうち、少なくとも1つは入学前に身につけていて欲しいと考え、それに応じて複数の種類の入試を実施しています。

法学部の入試の種類と日程

11月中旬 公募制自己推薦（AO型）

11月下旬 指定校推薦入試・外国人留学生

11月中旬 学士・一般編入学

1月中旬 V方式Ⅰ期（センター試験利用型）

2月上旬 A日程（3教科型・得意科目重視型・学部学科特色型）

2月下旬 B日程（2教科型）、法学部特別選考

3月上旬 V方式Ⅱ期（センター試験利用型）



	定員構成	AO型	V方式Ⅰ期	A日程			法学部特別選考	B日程	V方式Ⅱ期
				3教科型	得意科目重視型	学部学科特色型			
法律専門職専攻	50人	—	○	○	○	○	○	○	○
法律専攻	400人	○	○	○	○	○	○	○	○
政治専攻	50人	○	○	○	○	○	○	○	○

*昨年度から、法学部特別選考という新しい入試が導入されています。